



<b>氏名</b>	井上 嘉輝 (いのうえ よしき)			
<b>生年月</b>	1971年1月			
<b>出身地</b>	群馬県沼田市利根町			
<b>就農年</b>	1991年	<b>生産地</b>	沼田市利根町	
<b>栽培品目</b>	トマト、大根、ほうれん草			
<b>農業への思い</b>	親から受け継いだものを、次の世代に受け継ぎたい。			
<b>プロフィール</b>	<p>都内の生協と産直をしていた父親の影響を受け、高校時の「青年の主張」で産直の大切さを訴えた熱血漢。利根農業高校から東京農大短期大学部に推薦で入学し、2年間の寮生活は「6畳に2～3人だったけど、超格安で楽しかった!」。24時間友人という生活で、人を見る目を養ったという。卒業後農業を手伝い、23歳の時父親が村議選に出馬するのを機に、「通帳から何からすべて渡されて」家業を継ぐ。まだ農薬削減に取り組む農家も少なく、同じ出荷場では分別も難しかったため、生協の協力を得て、芳野さんなどとともに独自の出荷場を造る。2006年野菜くらぶ加入。現在、果菜部会長、(株)サングレイス取締役。</p>			

<b>氏名</b>	芳野 謹一 (よしの きんいち)			
<b>生年月</b>	1949年9月			
<b>出身地</b>	群馬県沼田市利根町			
<b>就農年</b>	1969年	<b>生産地</b>	沼田市利根町	
<b>栽培品目</b>	大根、にんじん、とうもろこし、アスパラガス、こんにゃく、米			
<b>農業への思い</b>	農業はいのちを守る産業。消費者に喜んでもらえる、おいしい野菜を作りたい。			
<b>プロフィール</b>	<p>幼少時、体が弱かったため中学からバスケットを始め、高校時代は沼田市内で下宿しながら朝晩バスケットに打ち込む。卒業後家業を手伝い、85年頃から地元の仲間とともに生協産直を始める(利根村農民の会)。栽培方法を変えたため、「肥料ひとつにしても失敗の繰り返しで、4～5年は質が落ちた。だけどそこが産直で、生協が育ててくれた」。現在は二期作や輪作などにより、おいしく健康な野菜を育てる。本社のある昭和村より条件は厳しく、収穫できるのは約半年。しかし後継者も育ち、「産直はお客様の顔が見えるし、自分で計画を立てて売れるからいい」と今後への意欲を燃やす。2006年野菜くらぶ加入。現在、根菜部会長。</p>			